

2021年度事業計画書

(単位：円)

	事業内容	事業項目	予算
1	<p>軽金属に関する教育機関並びに研究機関に対する資金の交付</p> <p>原則として軽金属（アルミニウムあるいはマグネシウムやチタン等を主成分とする金属材料）に関する学科目を教授する日本の大学の教授に対して資金を交付する。1件の交付額は原則として25万円。（前年は創立65周年記念事業で倍額）</p>	教育研究資金	12,540,000
2	<p>軽金属の研究者に対する資金の交付</p> <p>軽金属に関する日本の教育機関又は公的研究機関に勤務する研究者（但し大学にあっては准教授・講師・助教、短期大学又は工業高等専門学校にあっては教授・准教授・講師・助教）に対して資金を交付する。1件の交付額は原則として15万円。（前年は創立65周年記念事業で倍額）</p>	研究補助金	10,505,000
3	<p>軽金属に関する特定研究に対する資金の交付</p> <p>(1) 課題研究（1995（平成7）年度から隔年募集）</p> <p>従来の軽金属材料の持つ特性を凌駕する高性能、新機能、あるいは省エネルギー性、省資源性を高めた環境にやさしい軽金属材料の開発・研究に対して斬新にして独創的な研究計画をもって意欲的に挑戦しようとする若手研究者に資金を交付する。</p> <p>研究期間は2年、合計交付限度額 1,000万円/2年 但し2021年は調整の為、募集せず。</p> <p>(2) 統合的先端研究（2007（平成19）年度から隔年募集）</p> <p>将来に向けて発展の期待できる軽金属分野（当面はアルミ及びアルミ合金分野に限定）の研究を強力に支援する為、中心となる研究課題に対して研究手法の異なる複数のグループの協力関係により、単一グループでは為し難い横断的成果が期待でき、且つ軽金属に関する高度な教育・研究基盤を確立することが出来る研究者集団を助成対象とする。研究代表者、グループ構成者の年齢不問。</p> <p>研究期間は2年、合計交付限度額 3,000万円/2年</p>	<p>特定研究資金</p> <p>(1) 課題研究</p> <p>(2) 統合的先端研究</p>	<p>0</p> <p>12,502,000</p>
4	<p>海外の国際会議に参加する軽金属研究者に対する資金の交付</p> <p>海外で開催される研究集会において、軽金属に関する研究発表、討議を行う研究者に対して、資金を交付する。</p> <p>開催地により10万円,15万円,20万円の3段階を適用</p>	海外交流補助金	1,008,000
5	<p>軽金属に関する研究試料の提供</p> <p>軽金属に関する研究者に対し、純アルミニウム地金等の研究試料を提供する。</p>	研究試料費	165,000

(単位：円)

	事業内容	事業項目	予算
6	研究成果の公表と出版刊行、シンポジウム等の後援 当財団が助成した研究の成果を出版刊行、ホームページへの掲載あるいは報告会等の方法によって公表するほか、軽金属に関する出版、シンポジウム等を後援する。 (1) 出版刊行 課題研究等特定研究の報告書を刊行配布するほか、一般社団法人軽金属学会等権威ある機関の軽金属に関する出版を後援する。 (2) 研究成果発表会 課題研究の研究成果等、当財団が助成した研究成果の発表会を開催する。 (3) ホームページ上での研究成果発表 研究成果の英文アブストラクトを当会の英語版ホームページに掲載し公表する。 (4) シンポジウム 一般社団法人軽金属学会等権威ある機関あるいは団体の主催する軽金属に関するシンポジウム・セミナー等の研究集会を後援する。	研究成果発表費 (1) 出版刊行 (2) 研究成果発表会 (3) HP上での研究成果発表 (4) シンポジウム	 720,000 2,180,000 1,272,800 3,000,000
7	奨学金（給付型）の交付 軽金属に関係のある教育機関の修士課程及び博士課程に在学する有為の学生に、奨学金を交付する。	奨 学 金	27,050,000
8	軽金属に関する文献の寄贈 大学の材料関係教室に国内の軽金属関係定期刊行物を、大阪大学付属図書館に海外の軽金属関係定期刊行物を寄贈する。	図 書 寄 贈 費	1,950,000
9	軽金属研究者の表彰 一般社団法人軽金属学会における小山田記念賞の賞金及び副賞、軽金属論文賞、同新人賞の賞金、軽金属功績賞、軽金属功労賞、軽金属躍進賞、軽金属奨励賞及び軽金属女性未来賞の副賞、優秀ポスター賞の図書券を進呈する。また、軽金属に関しての優れた英文総説・解説論文執筆促進の助成をする。	表 彰 費	1,793,000
		合 計	74,685,800